



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：

担当者の所属・氏名 Immuno-Rheumatology Center 中井 健宏

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院

Immuno-Rheumatology Center 中井 健宏

# 当院予防医療センターで抗 CCP 抗体(オプション検査)を 測定された方を対象とした関節リウマチ発症リスク因子に ついての研究

## 1.研究の対象

2010年1月から2019年9月までに当院予防医療センターで抗 CCP 抗体を測定した方

## 2.研究の目的・方法

抗 CCP 抗体は関節リウマチの診断において重要で、関節リウマチの診断基準にも組み込まれています。

早期関節リウマチ患者さんの4人に1人で抗 CCP 抗体が陽性であり、診断後2年の時点で2人に1人で陽性になるといわれています。

その一方で全く健康な人でも1.5%程度で抗 CCP 抗体陽性となるといわれており、抗 CCP 抗体陽性であることイコール関節リウマチの診断となるわけではありません。

当院予防医療センターでは抗 CCP 抗体を希望者のみ測定しており、リウマチ膠原病センター(アレルギー膠原病科)に抗 CCP 抗体が陽性の方を多くご紹介いただいております。

その一方でご紹介いただいた後は関節リウマチの検索を行っておりますが、実際にどれくらいの割合の方が関節リウマチと診断されているのか、継続受診していただく中で、さらにどの程度の方が関節リウマチを発症されているのかなどのデータはわかっておりません。

当研究では予防医療センターでの採血で抗 CCP 抗体が陽性となった方のカルテデータをさかのぼることで、どの程度の方が実際に関節リウマチを発症されているのか、どのような特徴を持たれた方が関節リウマチを発症されているのかといった危険因子の予測を行うことを目的としております。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年3月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 当科を受診された際の関節痛の有無や関節エコー、レントゲンの結果、血液検査データ等